

- 1 日 時 令和5年8月17日(木) 午後2時から午後3時30分まで
- 2 場 所 iプラザ ふれあい交流室1・2
- 3 参 加 者 一般市民：12名、市職員：4名（延べ人数：16名）  
事務局：9名（健康福祉部 国保年金課、高齢者支援課）
- 4 概 要 (1) 開会  
(2) 部長挨拶  
(3) 内容  
①国民健康保険の現状（財政・税率改定について）〔国保年金課〕  
②介護保険事業の状況〔高齢者支援課〕  
(4) 質疑応答  
(5) 閉会 ※参加者アンケート実施

#### 5 質 疑 応 答

##### 参加者質問

磐田市の人口が167,000人弱、少子高齢化が進む中で、民生委員として回っていると、高齢者が実際に増えていると感じる。若い人が減っていき、子供が生まれてこない。若い人が地元に戻ってこないとか、例えば、介護保険料が磐田市より湖西市が安いのであれば住みやすい方に転居するということもあるかもしれない。先行きが見えにくい大変な状況で、負担が増えてくるのではないか。今の状況からみて、これからもっと将来的に大変な状況を迎えると感じるがいかがか。

##### 事務局回答

厳しい現状についてご説明したので、中々気分が明るくならない内容だったかと思う。磐田市の国保の保険税は13年据え置いてきているが、磐田の皆さんが他の町に比べて安いという実感があるかという点必ずしもそうではない。制度が複雑で、自分事に考えるのも自分がいくら払うかでしかなくて、実際は健康保険の中で介護分も払っているし、後期高齢者の支援分も払っているし、前期高齢者の負担分も各保険から支援を受けて回している。その制度を大きく変えようとしたのが、今年度の健康保険の法律改正。これからできるだけ若い人に支援していく大きな流れが来ていて、まだ不透明な部分もある。

国保に関していえば、被用者保険の拡大があるので、人口の減少だけでなく、加入者自体が減っていて、60歳から74歳の方が約6割となっている。こうした国保自体が現状のままで維持して

いくのが厳しい制度となっていることを踏まえて、市が運営してきたものを県という大きな単位で運営するとか、県内統一の保険料を目指していくように変わってきていると思っている。

負担能力が増えないのにどうやって負担していくのかという心配も大きいのではないかと思う。そこは所得の低い方には法定の公費が補填される形になっていて、保険税を改定しながら、法定の公費もしっかり入れて、県全体の大きな流れの中に入れていけるような準備を進めているところ。どこに向かっていつまでに改正するのか、国の制度改正にも対応できるよう先送りにせず、それをしっかりご理解いただきながら進めていきたいと考えている。また、資料の介護保険料についての比較は65歳以上の方の保険料の基準額なので、会社の健康保険に入っている方の社会保険料は湖西に引っ越しされたからと言って変わるということではない。負担が少ない方がいいのは皆同じだが、最終的に持続可能、将来的に負担を残さないことが大きな課題だと捉えているので、丁寧に説明していきたいと考えている。

#### □参加者質問

国保資料23ページの図2と図3のシミュレーションで、令和10年度に赤字をおおむね解消した後はどうなるのか。

#### ■事務局回答

決算で余ったお金を基金に積んだり、翌年度繰り越したりという額の調整はあるが、財政的な動き、事業費納付金の動きを加味して、毎年度財政検証をしながら保険税をどれくらい上げなければいけないか調整していくことになる。県が平成30年度から県内国保の運営方針を定めて、県内統一の保険料を目指そうと動いている。磐田市のように赤字でやっているところを解消していかないと足並みを揃えた保険料にすることはできない。県は令和9年度には赤字をなくすということを言っているが、できるだけそこに寄り添っていけるように考えている。その土俵に乗った上で、あとは数年後に各市町の状況が財政的にどうなっているか、県内市町と統一のための色々な項目を調整しながら検討しているところ。

令和10年度以降どうなるのかというのは、毎年度財政検証をやっていながら税率の統一が図られれば、最終的には後期高齢のように都道府県ごとに定めた税率で磐田市もやっていくような形になっていくと思う。

#### □参加者質問

もしかするとさらに上がってしまう可能性もあるということか。

## ■事務局回答

国保加入者はどんどん先細り、人数が減っていく。一方で、医療給付費という保険者として負担する分は一人あたりの分は上がっていく。そこを国保税で賄っていくと考えると、上げざるを得ない状況にはなると考えている。

## □参加者質問

民生委員をやっている。話がずれるかもしれないが、ヘルパーとか介護従事者がすごく少なくなっていて、その割に要介護、要支援が必要な高齢者が増えているというのをニュースでよく見る。介護する方の人数が減るということで、市としてそういう方たちへの補助というのはないのか。

## ■事務局回答

2025年には静岡県全体で5,700人くらいの介護人材が不足すると言われている。磐田市の事業所の状況は運営できないとまではいかないが、募集しても集まらないという状況があることは聞いている。人材の関係は主に県の方で対策をしているので、県の対策を見ながら市の方でも何ができるのか検討をしていきたいと考えている。

## □参加者質問

3点ほど質問したい。1点目は、令和10年度に赤字をゼロにするために、2年間で1万円ずつ上げていきたいということだが、もしそれが成功せず、赤字のままだと仲間に入れてもらえないとかがあるのか。

2点目は、高齢者は皆生活が苦しいが、払えるなら払いたいという気持ちはある。年金とか医療とか介護とかトータルで生活しているので、上がる方ばかり上がって、年金収入は物価スライドとイコールでなく値切られてくる。収入が値切られて負担が増えるのは高齢者には受け入れがたいところがある。

3点目は、医療費について。自由診療はいいことだが、自分がかかった病気は何でもオッケーで、必要か必要でないかのチェックはほとんど働いていない。医者も商売なので、中々カットはしない。一方で介護保険は出来たばかりの制度でサービス費がどんどん上がっていくので、色々な形でカットが出来ている。医療も介護のようなことをやらなければ、上がっていくばかり。これは全国的な問題だろうが、その面の努力をしていただけると、収入に見合った分は支払いたいと思える。

## ■事務局回答

令和10年度にほぼ解消というのは、仮に1万円ずつ上げた場合に今のシミュレーションでそうなるのではないかという推計。実際に1万円上げるということは、現時点では被保険者にとって大変厳しいと考えている。解消されなかったら仲間に入れないとか、ペナルティ的なものがあるのかというご質問に対しては、現時点ではそこに制度としての具体的なペナルティはない。ただし、市の目標として、なるべく赤字部分、歳入不足部分は削減したい。負担が過度にならない程度でどれくらいまで削減できるかを検討している段階。

2点目について、物価が上がっていて、後期高齢者医療の保険料は間違いなく上がるし、国民健康保険も上げないといけない。それに対して、収入が増えないというのは、若い人たちもそうだし、年金収入の方もそうだと思う。その負担感にできるだけ配慮しながら、ただし制度を持続するためにこういった形で税率改定をしていくべきか検討させていただいているところ。

3点目については、国の制度ということで市でどうこうできるものではないかもしれないが、市としては、資料24ページのような医療費をなるべく抑制して、負担が増えないような努力をしていくしかない。医療費の適正化をこれまで以上にしっかりやっていきたいと考えている。



会場の様子

参加者アンケート結果：回答者 11 名（参加者 12 名中）

令和 5 年度 市民勉強会「健幸いわた まちの保健室～磐田市の国民健康保険と介護保険の現状について～」

【国民健康保険の現状について】

① 説明について

概ね理解できた (4)  少し理解できた (6)  理解できなかった (難しかった) (1)

② 印象に残った内容について (複数回答可)

加入者の状況について (5)  財政の運営について (6)  医療費の状況について (4)

国保税の改定について (9)  その他 (0)

③ ご意見

- ・ 苦しい財政の中で、行政がよく考え努力されていることがよくわかりました。今回のような取り組みを広め、継続的に行っていただけると市民の理解へとつながっていくのではと思います。
- ・ 高齢者ですが、負担は可能な限り支払いたいと思います。
- ・ なかなか理想どおりにはいかないということがよくわかりました。しかし、目標を出すことは必要だと思います。元気に過ごしたいものです。
- ・ 円グラフの%割合が非常に見にくく疲れます。グラフはすべて字が小さく見えづらく。良くわかりましたけど、知ることができたことは良かったです。
- ・ 年度ごとに変わっていくことであり、実績と比べて吟味して欲しいと思います。
- ・ 何回もきかないとむずかしい。

【介護保険の現状について】

① 説明について

概ね理解できた (5)  少し理解できた (5)  理解できなかった (難しかった) (1)

② 印象に残った内容について (複数回答可)

要介護・要支援認定者数、認定率について (5)  介護給付費について (1)

財源と保険料について (6)  本市の目指す姿について (6)  その他 (0)

③ ご意見 (市にやってもらいたい高齢者サービスや行政に望むこと等)

- ・ 近い将来 (2～3年) のシミュレーションもして欲しい。
- ・ 集まりの場があっても、歩いて来ることが出来なくなってくる人がある場合にさそい方が難しくなっています。
- ・ 健康な高齢者を増やすようにお仕事がんばって下さい。
- ・ お世話にならないようにしたいものです。
- ・ きびしさを感じる。

(欄外意見) ある部分の文字が小さくて見えにくいのでもう少し大きくして欲しいです。